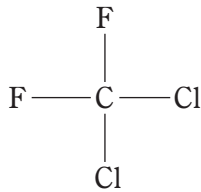


表は、モントリオール議定書に基づく先進国に対するオゾン層破壊物質の削減スケジュールを示したものである。化合物群Cに含まれる化合物として、正しいのはどれか。

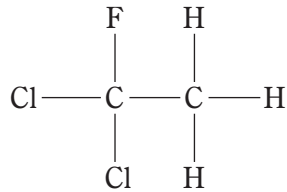
表. モントリオール議定書に基づく先進国に対するオゾン層破壊物質の削減スケジュール（一部）

物質名		先進国に対する規制スケジュール	
A		1996年以降	全 廃
B		1994年以降	全 廃
その他のクロロフルオロカーボン		1996年以降	全 廃
1,1,1-トリクロロエタン		1996年以降	全 廃
C	消費量	2020年以降	全 廃（既存機器への補充に関する例外あり）
	生産量	2020年以降	全 廃（既存機器への補充に関する例外あり）

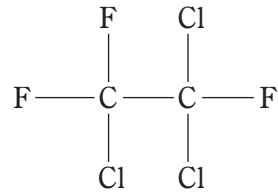
1 .



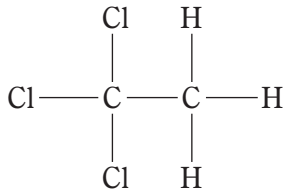
2 .



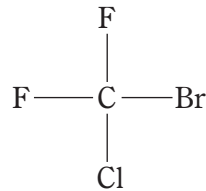
3 .



4 .



5 .



〔正答番号〕 1 3 4 5

原子吸光光度法，誘導結合プラズマ（ICP）発光分光分析法及び ICP 質量分析法に関する次の記述のうち，正しいのはどれか。

1. 原子吸光光度法では，主に励起状態の原子蒸気による光吸収を観測している。
2. 原子吸光は極めて狭い波長範囲（1 pm 程度）の光吸収であるため，共存物質等による干渉を考慮する必要がない。
3. ICP は，光と熱の発生を伴う状態で，通常は物質と酸素との化学反応によって生じる。
4. ICP 発光分光分析法は，測定対象の元素ごとにプラズマ化して励起源として用いる必要があるので，多元素同時測定には適用できない。
5. ICP 質量分析法では，ICP 中に導入された試料のうち，イオン化された原子を質量分析計で検出している。

〔正答番号〕 1 2 3 4

インフルエンザとその治療に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. これまでの世界的規模での大流行（パンデミック）の原因は、C型インフルエンザウイルスの変異株である。
2. ファビピラビルは、新型又は再興型インフルエンザウイルス感染症の治療に用いられる。
3. アセトアミノフェンを小児のインフルエンザ患者に使用すると、インフルエンザ脳症を悪化させるおそれがある。
4. ザナミビル水和物は、B型及びC型インフルエンザウイルスには無効である。
5. ラニナミビルオクタン酸エステル水和物は、1日2回、5日間吸入投与される。

〔正答番号〕 1 3 4 5

薬剤師法に基づく薬剤師の業務に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 薬局の薬剤師は、薬局の管理者が不在の場合、調剤を断らなければならない。
2. 病院の調剤所では、入院していた患者が退院した後、当該患者が近隣の診療所の医師から交付された処方箋により病院の薬剤師は調剤することができる。
3. 病院の薬剤師は、処方箋を交付した医師の同意を得ずに、処方箋に記載された医薬品を変更して調剤することができる。
4. 薬局開設者は、調剤録を、薬剤師による最終の記入の日から2年間経過後、廃棄することができる。
5. 薬剤師は、販売又は授与の目的で調剤した薬剤の容器又は被包に、患者の氏名、用法、用量等を記載しなければならない。

〔正答番号〕 1 2 3 4

第十八改正日本薬局方の通則及び製剤総則に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 純度試験は、医薬品又は医薬品中に含有されている主成分などを、その特性に基づいて定量するための試験である。
2. 無菌とは、定められた方法で対象微生物が検出されないことであり、滅菌とは、被滅菌物の中の全ての微生物を殺滅又は除去することをいう。
3. 気密容器とは、通常の手扱い、運搬又は保存状態において、気体の侵入しない容器をいう。
4. 製剤には、必要に応じて、適切な添加剤を加えることができる。ただし、添加剤の許容一日摂取量は0.1 mg/kg体重/日であることが規定されている。
5. 最終滅菌法は、通例、あらかじめ使用する全ての器具及び材料を滅菌した後、環境微生物及び微粒子が適切に管理された清浄区域内において行う。

〔正答番号〕 1 3 4 5